

## “早く元の生活にもどれるように役立ててください” 党県委員会が、倉吉市に寄付金30万円（第二次）届ける

日本共産党鳥取県委員会は、12月1日、佐藤博英倉吉市議、市谷知子県議、岩永尚之県書記長が市役所を訪問し、石田耕太郎市長に、被災者支援の寄付金30万円を手渡しました。今回で二回目の寄付金で、11月4日の第一次分とあわせて50万円となりました。

岩永書記長は、「今回の地震被害にお見舞い申し上げます」とのべ、「全国から、とくに、熊本県、兵庫県、広島県からたくさんの募金が寄せられました。“一日も早くもとの生活にもどれるように、との思いがこもった募金だと思います。ぜひ、被災者のために役立ててください」と伝えました。



石田市長（左）に寄付金を手渡す佐藤倉吉市議、市谷県議、岩永書記長

これに、石田市長は、「今回の地震で、市の財政もひっ迫しています。いただいた寄付金は、市民の暮らしや福祉のために役立ってます」と謝意を述べました。

市谷県議は、「仮設・借上げ住宅に県も支援することになりました。ブロック塀の修繕にも支援を検討していると聞きました。市町の負担が軽減されるようがんばります」と話しました。

## 党川崎市議団が鳥取県委員会に被災者支援募金届ける

12月1日、鳥取県を視察に訪れた日本共産党川崎市議団が、日本共産党鳥取県委員会を訪問し、地震のお見舞いを伝えるとともに、被災者支援募金を届けました。

岩永尚之書記長（党震災対策本部長）は、「忙しいなか、わざわざお出でいただきありがとうございます。お預かりした募金は、被災者支援のため役立たせていただきます」と感謝を述べました。



岩永書記長に募金を手渡す党川崎市議団のみなさん＝1日

岩永書記長は、鳥取県が一部損壊に30万円の支援を決めたことは評価しながらも、“さらに、‘もっと’の立場で、全国に生きる先例をつくるためがんばります”とのべました。